

一般演題6-5

平成30年4月診療報酬改定に伴う高気圧酸素治療実施施設の現状

～近畿地区におけるアンケート結果より～

大江与喜子¹⁾ 松田健太郎¹⁾ 名川博之¹⁾上野剛久²⁾ 松村憲一²⁾ 丹羽康江³⁾野原 敦⁴⁾ 西手芳明⁵⁾ 河村誠司⁶⁾太田雅文⁷⁾ 山下 繁⁸⁾ 山崎康祥⁹⁾吉田和弘¹⁰⁾

- 1) 医療法人財団樹徳会 上ヶ原病院
- 2) 社会医療法人誠光会 草津総合病院
- 3) 一般財団法人津山慈風会 津山中央病院
- 4) 鈴鹿医療科学大学
- 5) 近畿大学
- 6) 医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院
- 7) 医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院
- 8) 日本赤十字社 和歌山医療センター
- 9) 藍野大学
- 10) 京都大学医学部附属病院

【はじめに】

平成30年4月の診療報酬改定において高気圧酸素治療(以下HBO)に関する保険点数が大幅に見直され、疾患別の上限回数が設けられた。改定によるHBO実施状況の変化について、近畿地区の施設に対しアンケート調査を行った。近畿地方会では本アンケートに基づき、実施状況の変化を把握し、更なるHBOの充実と発展のため、地方会として各施設での対応等について情報共有することを目的とした。

【方法】

2018年3月発行安全協会ニュース第48・49合併号に掲載された全国都道府県別設置施設名簿に記載の近畿地区24施設(滋賀県:1, 京都府:8, 大阪府:8, 兵庫県:5, 和歌山県:2)に対して、郵送によるアンケートを本年8月に実施した。アンケートへの協力は自由意思での決定とし、無記名での回答を募った。アンケートの内容としては、本年4月～6月の状況及び前年度同時期と比較し、実施状況の変化を中心に、改定後の問題点等について記入してもらった。

【結果】

24施設中12施設より回答を得た。

実施回数の変化:増加→5施設, 変わらず→2施設,

減少→5施設

収益の変化:増加→10施設, 変わらず→2施設

自己負担の増加により中断または断念したことがあった:8施設

回数制限により中断したことがあった:8施設

回数制限により困ったことがあった:6施設

【結語】

今回の改定により施設としては増収が期待できる反面、患者の窓口負担が増えた為に患者数・実施件数が減少した施設もあった。疾患によっては上限回数のため治療が全うできない事がある。継続治療の可能性につき検討が必要である。今回、回答を得たのは12施設(50%)であったが、近畿地区の連携のためにも今後も情報を共有していきたい。

4月診療報酬改定に伴う高気圧酸素治療の変化

回数制限により困ったことがあった

6施設

- * 放射線障害の治療が改善していても十分でないまま終了となる
- * 治療終了後再燃した
- * 急性血管障害10回で終了したが改善しているので継続の依頼があった
- * 「一連」の定義がわからない
- * 適切な治療間隔がわからない

これからのHBO診療において望むこと

- ・ 再び診療報酬が低下しないか
- ・ 継続が必要な場合の対応
 - ～放射線障害
 - ～コメントで対応可か?
- ・ 「一連」の解釈を・・・
- ・ 緊急時加算を

アンケートに答えていただいた
ご施設に感謝いたします。

診療報酬改定への
ご努力ありがとうございました。
今後ともよろしく
お願いいたします